

第2回 日ASEAN 女性・平和・安全保障 (WPS) 協カプロジェクトの主催

令和7年7月28日～31日、防衛省は「第2回 日ASEAN 女性・平和・安全保障 (WPS) 協カプロジェクト」を主催しました。本プロジェクトには、ASEAN諸国 (ミャンマーを除く。) に加えて、東ティモール、フィジー、パプアニューギニア、トンガ及びチリの防衛当局等に所属するWPS実務者計24名並びに、国連女性機関本部やオーストラリア軍からWPS専門家に参加しました。

本事業では、人道支援・災害救援 (HA/DR) におけるWPSをテーマとし、部外専門家 (国連女性機関本部 戦略軍事顧問) による講義、防衛省・自衛隊及び各国参加者による災害派遣活動等におけるWPSに係る発表、及びグループ討議を実施した上で、防衛省主催WPSシンポジウムへの参加、部隊研修等を実施することにより、参加者のHA/DRにおけるWPSに関する認知向上及び理解の深化を図りました。また、インド太平洋地域のWPS実務者間のネットワークの拡大と課題解決に繋げるプラットフォームのさらなる強化に貢献しました。

防衛省・自衛隊は、引き続き、ASEAN諸国等と共にインド太平洋地域全体におけるWPS推進を強力に進め、国際平和と安定に貢献します。

プロジェクトの様子



